

2011年

弥生号

3月18日

号外Z18

マニサク

# 右馬允だま里

今年も 寒さの厳しい冬が くれを冬と この寒さを楽しみ  
つづつ冬にむかいましたが 太陽のリズムを取り入れた二十四節気  
のとおりにはこの冬は進んでいるかと感じしながら 自然の変化  
を五感で味わってありました。立春、雨水と日を経つて連れて 地中  
も目覚め 谷間はまんぷく咲き 福寿草の庭先を明るく  
山も霞立つようになりました。

昨年の春 松本に仕入れて来た(岡崎おうぼん)という  
わとりのはちまきが 立派に大きくなり 毎朝 卵を10ヶほど産ん  
でくれて 冷蔵庫にたんたん貯めて 近所は配ったりと 反だちのど  
ろへ届けたりうれしい悲鳴です。母はよく寒中の卵酒は身体  
にいいからと いて作ってありましたか 一つ飲んでいたのでそれ  
を見た記憶がありませんが、こんな条件がいい時 お客様  
がいないか 残念ななりません。にわとりの鳴き声、犬の吠  
える声……人の話す声はよく 静かなものです。殺風景な有り様  
を見ながら いつも不安になるこの季節ですが 清明、穀雨を  
迎える頃あの気持ち「あ〜 やほり には素晴らしい処」  
と確信の持てる時と とう少し。今はじーっとその時を待ちます

山の方には猿や鹿の食べ物が無くなり、たのみの 里でおいしい食べ物を  
知りました、たのみの 二年前くらいから街場に近いオオこの石馬丸周  
辺にも<sup>この界にちが</sup>母と頻繁に見るようになり暮れには収穫前の白菜を全部食べられて  
しまいました。上手に(私には)育ちすぎて白菜漬けて(しようと)思っ  
いた矢先のことでした。お正月過ぎて畑に残っている大根、お餅、ほうれん  
草はこごとごとくやられ 幹先に干してある大根、柿に残っている干から  
びたおぼろ柿 全て取って食べています。屋根瓦をすらし 鬼のガラスを  
汚し おかしの迷惑を被っている私たち村人たちはこのからもあず  
に野菜作りを作っていくのであろうか! 猿や鹿をいじめている覚え  
はないですわー そのうち 猿鹿×人間の競いかばいあ  
たら どうしようと 内心悩んでいます

## ②② 浜松の軽トラ市に 大鹿村から出店②②

いってまいりました

〈三遠南信 山と海とをつなぐ人々〉ということはこの三遠南信  
地域と こんどは物の豊富がことと アピールしようと 軽トラックやワゴン車  
に積んで来た産物をその場でアピール 売るといふ市の 1月から始ま  
ってこの2月12日は又度目の市。浜名湖産のうなぎ、かき、みかん  
いちご、大鹿から持ってきたものは ツカ肉、市田柿、南天、こん  
ぱくりんご、わさ、豆餅他、又美と正介、それに近所の哲勉  
大雪の中 夜中の12:00に出発して 9:30の同店に同哈  
った次第。この日の売り上げ 8万円也。活気のある楽しい  
催しであつたそうじ。

**お知らせ** → 只今反子母は 名古屋の柿のどろ  
へ 避寒中です。元気でおりますので、安心下おまつうに